中学2年　連立方程式

いろいろな連立方程式の解き方（1）

月　　日

名前

＜ポイント＞ いろいろな連立方程式の解き方（小数）

〇連立方程式の係数が小数のときは、それぞれの方程式を 10 倍、100 倍・・・などして、

小数をすべて整数にしてから連立して解く。

＜例＞ $\begin{cases} 0.2x+0.3y=1.1 \cdots ① \\ -0.02x+0.01y=-0.07 \cdots ② \end{cases}$

①×10、②×100をして係数を整数にする

$2x+3y=11 \cdots ③$

$+)\ -2x+y=-7 \cdots ④$

$4y=4$

$y=1$

y=1 を③や④に代入する。

※①や②には代入しないこと

①に代入すると、

$2x+3\times1=11$

$2x=8$

$x=4$

【1】 次の連立方程式を解きなさい。

(1) $\begin{cases} 0.1x+0.1y=1.2 \\ 0.3x-0.1y=0.4 \end{cases}$ （ x=4、y=8 ）

(2) $\begin{cases} 0.1x+y=5.5 \\ 0.5x-0.2y=0.7 \end{cases}$ （ x=3、y=4 ）

(3) $\begin{cases} x-1.5y=6.5 \\ 0.1x+0.3y=-0.7 \end{cases}$ （ x=2、y=-3 ）

(4) $\begin{cases} 0.7x-0.2y=2.3 \\ -0.02x+0.01y=-0.04 \end{cases}$ （ x=5、y=6 ）

(5) $\begin{cases} 0.06x+0.05y=0.04 \\ 0.1x+0.15=1 \end{cases}$ （ x=-11、y=14 ）